

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 令和元年11月23日（土） 10時～12時
- 開催場所 近隣センターふさの風
- 参加者 13人
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長、
増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職13名

■懇談要旨

市民：台風19号では利根川の水位が上昇し、避難勧告が発令されました。13日の午前0時半過ぎにレベル4の防災無線があり、その後、朝から午後に水位が上昇しましたが、防災無線の連絡がなかった。この間にも防災無線を流す事を行ってほしかった。防災対策会議で避難の必要が無いと判断していたのであれば、レベル変更の無線を流すべきであったと思います。利根川の水位が上がった時も近隣センターふさの風は開館していて、利用者もおりました。ここは、3m以上の浸水想定区域にあります。ここから布佐小学校の避難所までも1kmも歩かなければなりません。また利根川の近くの道を通るので、避難開始が始まって利用者には高齢者が多いことから、危険です。閉鎖をする判断を早くして避難する時間を確保するべきであると思います。

市民生活部長：台風19号の際、最初は土砂災害の避難勧告であり、その時点では水位は上がっておりませんでした。13日に利根川の氾濫水域を超えたので、防災放送を行いました。夜間の避難は危険であるため、垂直避難も併せて周知しました。翌日は栗橋の水位が下がっていたので、放送はしませんでした。判断は適正であったと思います。なお、避難勧告の発令中に「近隣センターふさの風」が開館していたことについては、今後の検討課題とさせていただきます。

市長：避難勧告の場合、土砂災害と利根川の決壊の部分と一緒に考えられているようです。台風のように雨風が強い時は、まず防災無線は聞き取りにくいという前提で皆様には意識しておいていただきたいと思います。聞こえにくい時は、フリーダイヤルで情報を確認してください。また、防災メールへの登録もお願いしたいと思います。防災無線の放送内容と同じものが流れます。市では水位の上昇に

よる避難の目安として、まず栗橋を目安に、ここで水位が上がっても我孫子までは6時間かかってくるものですので、十分避難できる時間があります。野田の芽吹橋では2時間ぐらいです。このような部分を判断しながら、皆様に情報を提供しております。また、今回、手賀沼の近くにあるアビスタが、避難所として開館しているのはおかしいというご意見もいただきましたが、今回のように土砂災害の警戒の時は、開館いたします。また手賀沼の水位については、下流事務所と相談して台風が来る際には、事前に水位を30cm程度下げている、実際に今回の台風が過ぎ去った後は、水位を下げる前の水位になったということです。

今回、利根川が決壊したという情報がありましたが、そこは調整池となっている北新田のことです。北新田はあくまでも調整池であり、利根川が決壊しないように水を流し込むのであり、それを理解していただいたうえで、普段は耕作してもよいということになっております。今後の耕作者への対応は関係機関と連絡を密にしながら、対応していきます。皆様には、お手数をおかけいたしますが、どのような警報がでているのか、どのような内容なのか、フリーダイヤルや携帯登録などをしていただき、ご確認していただければと思います。

市民：以前、布佐南小学校で除染工事を行いました。永久的に埋めていくのでしょうか。また、その測定の結果が、何処に掲載されているのか、広報にも載っていないので市民に知らせてほしいです。

次に、五本松公園の整備はどうなっていますか、今年から工事を着工すると以前、聞いた覚えがあります。教えていただきたいと思えます。

あと、布佐南公園の整備について、水飲み場が斜面に2か所設置されるようで、水飲み場を多くするのではなく、トイレの近くは手洗い場にしてはどうでしょうか。舗装部分についても図面だけではわかりづらいので、詳細な説明をお願いします。次に市境区画の件ですが、我孫子市の中に取手部分がありますが、その部分の区画を我孫子に取り入れ、古利根地域を取り込んだ固定資産税の確保などをすべきだと考えます。

公園緑地課長：布佐南公園の水飲み場は、今と同じ場所に付け替えるので、斜面につけるものではありません。車椅子の方も飲めるようにしていきます。また通路は亀裂が入っている部分もあるので舗装を剥がし、再舗装してバリアフリーを実

施し、園路に入るところと勾配がある場所を緩めた整備を行います。トイレについては、現在、男女共同のトイレを個別に分け、洋式を入れるようにします。

トイレの近くのスロープは勾配をなだらかにいたします。

なお、工事中につきましては、仮設のトイレを設置する予定です。

企画財政部長：五本松公園は、サッカー場を整備するというところで、天然芝か人口芝にするかなど、検討中です。また、担当課では、整備費用の財源となる補助金を研究している状況です。市民の皆さんが利用しやすくなるよう、また財政の負担を軽減できるよう検討してまいりますので、もう少し時間がかかります。

なお、そういった部分が整理できたとしても、事業執行の優先順位により、遅くなる場合もありますので、ご了承いただきたいと思います。

市長：我孫子市は財源が豊かではありませんので、国の補助金を活用するものが多くあります。補助金が明確に確定しないと着手できません。そういった関係で、事業が後回しになったりする場合があります。クリーンセンターも来年から工事が入り、約3年はかかります。最終の見通しが見つからないと進めませんので、ご理解いただきたいと思います。除染については、市内の小中学校、保育園等は除染整備を行い、その敷地内に2m程掘って埋めております。これにつきましては、環境省がまだ方針を出しておりませんので、こちらは動きようがありません。線量については、学校は教育委員会が行っており、ホームページに掲載しているかは、確認してまいります。空間測定による放射能レベルは下がってきており、問題ない状態です。農産物についても規定水準以下ですので、問題ない状況です。

市境の取手の小堀につきましては、以前、住民の方々に聞き取り調査を行いまして、小堀にお住いの皆様は取手のままで良いと言っておりますので、その意見を尊重したいと思っております。

なお、災害の場合は、取手との災害協定を結んでおりますので、我孫子市が行っております。また、あの場所は市境だけでなく県境でもあります。単に取手市と我孫子市だけの事ではなく、千葉県と茨城県という県同士の話にもなりますことをご承知ください。

市民：布佐南公園もドクターヘリのヘリポート場になると意識しております。南小学校がヘリポート場になっておりますが、イベント等がありますので、利用が難

しいと思います。そういった点で消防車や救急車、ヘリポートのエスコート場所として考えておられるか、お聞きしたい。また、現在、車のナンバーは柏市となっております。以前、ご当地ナンバーを作成するにあたり、野田か柏にするかのアンケートによって柏になったと記憶しております。ご当地ナンバーの要件が下がってきている中、知床ナンバーなどもありますので、もっと地名など限定して、例えば手賀沼ナンバーなどはどうでしょうか。市のお考えをお聞かせください。

公園緑地課長：今回の公園整備では、バリアフリーの観点での整備ですので、ドクターヘリの整備は考えておりません。

市長：市内の学校は、広いグラウンドがあり、用地としては適していると思います。ただし、粉塵を抑える為、先に消防が来て水をまくなどの対応が必要になると思われます。

また、その場で緊急の処置が必要な場合もありますので、現段階では小学校のグラウンドの方が適していると思います。いずれにしても、安全に離発着ができる敷地を優先して考えてまいります。

ご当地ナンバーについては、柏市が40万人の人口ですので柏市民が承諾してくれるかが、大きなハードルになると思っております。今回の手賀沼花火の絵柄も双方の市が関連しているので、協議をしてまいりました。手賀沼は柏市と我孫子市を繋いでおりますので、双方の市に関係があるものですから、名称変更は可能かと思われませんが、柏市でも、手賀沼に対する市民の意識は西側と東側では、大きく違う事もあります。こういった部分もご理解いただきたいと思っております。

市民：布佐は昔から災害が多く、災害に対する意識が高いと思っております。今回の台風で湖北台近隣センターなど、水害の影響を受けにくい避難所に避難した方も多くいると聞きました。夜間であっても避難勧告を出したのですから、水位が下がったのであれば、避難勧告の解除の放送は行うべきであったと思っております。そうすれば、正確な情報が伝わり、布佐地区の市民の皆さんも安心すると思っておりますので、よろしく願いいたします。

次に昨年度もこの時期にお願いしていた横断歩道の白線を引き直してほしいということです。一部は行ってくれましたが、まだ、行っていない所もあります。布佐地区では特にアンダーパスが出来て、交通量が多くなり大型車も増えてきて

おります。登校する子供達の横断歩道は早く引き直してほしいと思います。また、国道356号から布佐駅に入るところの信号ですが、設置は3年後ぐらいと道路課から聞いております。1年でも2年でも早く設置していただきたいと思います。

市民生活部長：土砂災害の避難の対象は、133世帯・263人でした。最初は土砂災害の避難勧告であり、その後の放送は、洪水に関する事でしたので、少し解りづらい件であったと思います。次回に向けての反省として今後の対応に活かしてまいります。

建設部長：横断歩道と信号機の設置についてお答えいたします。白線を引くように現場を再度確認いたします。なお、信号機は県が設置するものですが、我孫子市としては要望をしております。アンダーパスが出来てから交通量が増えたことも新たな要望として、県に伝えます。また、我孫子出身の県議にも伝えてまいります。

市民：白線を引く場所などの地図は、前年に渡しておりますが。

道路課長：横断歩道につきましては、再度現場を確認させていただきます。歩道の白線は警察しか出来ませんので、市内各地で要望をいただいております。県も県内全域の中で予算確保をしていきますので、我孫子市全部が要望どおり対応できるとは限りませんが、市として要望してまいります。

市長：我孫子市では交通量の多い我孫子、天王台地区では多くの白線が消えかかっておりますが、規制部分については警察が行っております。県の予算では道路関係の予算が削減されており、なかなか予算がとれない状態です。また、信号機設置についても、千葉県内でも60か所分しか予算がとれないとのことであります。

信号機設置については、車の流れを止めないように用地買収による用地を確保してからとなりますので、時間がかかってしまう事をご理解ください。私としても県に行った場合は、その都度、県議や警察にもお伝えしながら努力いたします。

市民：布佐地区は衰退しています。将来を見据えて、都市計画の中で布佐地区をどのように復興させていくのか、お聞きしたい。地理的にも企業誘致も難しい立地条件であり、どのようにしたら、活性化できるのか。大きな主要道路が1本でも入れば、活性化されると思います。また、ニートや家に閉じこもっている若者を農業に従事させて、布佐地区に農業センターを建設し、農業の活性化を行う事も

良いのではないのでしょうか。市としての考えをお聞きしたい。

市長：布佐の地形は南北が狭く、活用する土地がなかなかないので、企業誘致は難しいと思います。また、ほとんどが市街化調整区域であり、農地の転用が一番難しいものです。人を呼ぶには、鉄道、道路が多いことであると思いますが、現実的に住宅が立ち並んでいるところに道路を通すことは費用が莫大になり難しいです。今、人が住んでいないところを整備していくのが、効率的であります。そういった中では、印西市と成田市を結ぶ道路が建設されてきている中、千葉・柏道路のというものが国の計画であります。しかし、来年のオリンピックに向けて北千葉道路と外環の整備が優先されておりますので、時間がかかるとは思いますが、この道路に期待はしております。栄橋の渋滞解消も含めて、これが一番現実味があると思っています。農業については、日秀に大きな市民農園がありますが、新規就農者に貸し出し、農業を続けていける見通しができたら、休耕田を安価に貸し出しするなどしています。今は、湖北から天王台にかけて多くなってきております。今できる野菜の収穫をベースに少しずついろいろな野菜を作っていこうと考えているようですので、まだ、もう少し時間がかかるとは思います。布佐の方でも、土地を貸してくださる方がいらっしゃれば、農地を提供していきたいと考えております。

環境経済部長：国の方では多くの人を雇い入れての大規模農業を推進しております。我孫子市でもそういった新規就農者を社員として雇う企業も出てきており、新たな会社組織がつくられてきております。こういった取り組みが進めば、雇用の推進や、また、新しい作物を作ることによって農業の推進にもなると思っています。

市民：旧社会福祉協議会の跡地の暫定調整池の計画の経緯を教えてください。

治水課長：現在、雨水排水幹線整備の工事を進めており、下流から進めておりますので、その工事が終わるまで暫定調整池としています。幹線整備工事が終わりましたら、幹線を通してポンプ場で排出されますので、その役割は終わります。

市民：南公園の改修工事で、新たに内側の斜面に道路を造ってくれるようですが、斜面の一番低い所は水はけが悪いので、以前からイベントをしてきた中で、前日が雨ですと、ぐちゃぐちゃになってしまいます。以前から水が抜けるような構造

にしてほしいと言ってまいりましたので、その場所が排水できるよう、改修工事にあわせて対策をお願いしたい。あと、ヘリポートは他の公園を使っており、布佐南小学校も過去には使用しておりますので、出来ると思います。

もう1点は、終末処理場の臭気対策についてお聞きしたい。最初沈殿池は3列あるのですが、その1列目は終わっております。2列目は途中までで止まっております。先日、私どもで事務所に聞いたところ、2列ずつを毎年行っていきたいと言っておりました。予算もありますでしょうが、2列ずつ行っていきますと全部で12列になると思いますが、かなり時間がかかってしまう事になります。昭和56年から40年近く悪臭を垂れ流している状況でありますので、県に対しては、あそこを利用している7市の総意として、県にスピードアップの要望をあげてほしい。また、県が実施している臭気調査については私どもでは見れませんでしたので聞きに行ったところ、我孫子市の臭気基準を過去に超えたことが何度かあったと聞きました。ぜひ、その資料を入手していただき公表してもらいたいと思います。

公園緑地課長：公園については、排水がなく自然浸透になっており、今回の工事では排水工事は予定しておりませんが、水がたまらないように、出来る限り努力はしていきます。大規模な排水管の設置は出来ませんので、絶対にたまらないようにすることは、出来ませんが努力はいたします。

建設部長：終末処理場につきましては、広域で連絡協議会がございますので、覆蓋設置については年に2つではなく、さらに多くの蓋を設置できるよう、県に要望をしていきます。

下水道課主幹：臭気測定の結果につきましては、千葉県手賀沼下水道処理場から伺っておりまして、調査は今年度2回実施しましたが、どちらも基準は超えていないとのことです。結果は文書ではなく、口頭で確認しております。平成29年度では5か所の観測地点で基準値を越えておりましたが、平成30、31年度は基準値を超えておりません。

市民：超えた部分については、我孫子市としてどのような対応をされたのでしょうか。

建設部長：超えた部分については、市としても蓋の設置について話をしております。

市民：5月頃の最も臭いがする時期に臭気調査をすべきで、県に調査を任せるのではなく、市でも主体的に臭気調査に関わるべきです。基準を超えているのであれば、県に対する強い対応をお願いしたい。

建設部長：県に要望を伝えます。調査の回数や実施時期についても少し回数を増やすよう要望を挙げていきます。なお、臭気調査結果につきましては、公表してよいかどうかは確認いたします。公表してよいとのことであればすぐに公表する、公表できない場合は、出来ない理由をお伝えいたします。

市民：私の家の向かいの畑の土が台風の影響で、大雨により泥が流れてきています。U字溝の一番奥に泥が溜まるので、早く泥をとってほしい。私の土地の周り是我孫子市に貸していて、排水管が入っているので、そこが詰まった場合、水害の場合に大きな影響が出てくると思います。先日も道路課にお話ししております。

建設部長：まず、畑の所有者に土が流れないようにお願いしまして、排水管につきましては、泥で詰まったりすると機能が低下し、事故にもつながる場合がございますので、早急に対応していきます。

市民：防災無線で、うるさいから流さないと言われてましたが、放送を聞けない人達に対する対策を考えてほしい。市として、緊急の際の対応を考えてほしい。防災ラジオ等を導入し、個人でも防災無線を受信できるような体制を整えるのもいいのではないかと思います。要するにパソコンやメールが出来ない、出歩けなく防災無線が聞き取りづらい人への対応策を考えてほしいということです。

市民生活部長：先ほどの回答で誤解を招いたとしたりすみませんでした。うるさいから流さないということはありません。夜間であり、雨風も強かったため、水平避難だけでなく垂直避難を周知する放送を流しました。防災ラジオに関しては、1つの手段であると考えておりますが、多額の費用がかかるため、そのほかの手段も含め、今後検討していきます。

市民：メール等も出来ない人もいますので、そういった人に対する方法も検討していただきたいということです。

市民生活部長：マスコミに投げることも一つの手だてであると思いますが、いろいろな方法の中で、私共も提案しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。